

2011年度「FD研修」を開催

本年度のFD研修(テーマ編)が8月11日、札幌サテライトキャンパスにて開催されました。学生の多様化が進行する中で、本学はキャリア教育を実践していく上で、さまざまな課題に直面しています。キャリア支援に対する問題点を各学部・学科ごとに明らかにし、それらを全体で共有した上で、キャリア形成支援においてどのような取り組みが必要なのか、その具体を創造することを目的として実施されました。

参加者はFD委員12名を含む総勢40名。今回は、事務職員も参加する研修となりました。午前9時30分から開始。オリエンテーションに続き、参加者による自己紹介が行われた後、FD委員長から今回の研修テーマの説明がありました。本学のほとんどの学部・学科は専門職能人

の育成を使命とする組織ですが、一方においてはキャリア意識の低い、また基礎学力を含む学習準備状態に乏しい学生を受け入れる状況となっています。「知識・技能」というスキル面ばかりでなく、「職業観」「勤労観」などといった内的キャリア面からの教育的支援も組織的かつ継続的に行っていく必要があります。また、これからの医療を取り巻く環境の変化を考えると、「人生・生涯」という長期的視点に立つキャリア支援が求められています、との問題提起がなされました。

午前の部の最後のプログラムでは、各学部・学科の進路動向の説明に続き、学生支援課から就職動向等の説明がありました。ここでは就活における学生像の変容についても言及され、あらためて学生の気質に変化が起きていることを確認する機会となりました。

昼食後、ワークショップ(WS)型のFD研修を開始。各学部・学科の参加教員などから構成される6グループが、WSでの役割等を確認した後、WS1の課題「キャリア形成の問題と教育の在り方」に挑みました。ここでは、グループごとにキャリア形成支援においての問題点を整理し、それに対する対策案などを纏めて発表。活発な質疑応答が行われました。



休憩をはさんでWS2の作業へ。ここでの課題は「今後のキャリア形成の支援の在り方」でありました。WS1で提示された対応策を基本として、組織として実施できる課題解決の具体策をつくりあげる作業が行われました。大学の入り口から出口までの教育課程の全体を通して実現可能な、また卒業後において実施できるキャリア形成支援の具体などについて、活発な議論が交わされました。最終的には、各学部・学科で実施に向けてのプロダクトが作成されました。

最後に全体討論が行われた後、夕食会を兼ねた「情報交換会」として研修の場所を移動。ここでは、同じ大学組織内においても普段あまり話す機会の少ない教員同士、終始、和やかな雰囲気のもとで、互いにさまざまな情報が交わされました。午後8時には、すべてのFD研修のプログラムが終了しました。

今回の研修で作成されたプロダクトは、平成23年度のFD研修報告書に纏められることになっています。



平成23年文科省「大学教育・学生支援推進事業」

学生支援推進プログラム特別キャリアデザイン講座を開催しました。

8月3日(水)より5日(金)までの3日間、看護福祉学部臨床福祉学科3年生を対象に「特別キャリアデザイン講座」が開催されました。

企業・教育機関等で社員研修トレーナーやキャリアカウンセリングをされている専門の外部トレーナーを講師としてお招きし、「自ら将来を切り開いていく力を身につける」～私ってどんな人、私の仕事観～というテーマで「働くことを知る・課題発見力を身につける」「自分を知る」「自分を理解し表現する」等の項目

による講座を開催しました。参加した学生はディスカッション等を通じ改めて自分の将来を見据え「働くこと」を考える良い機会となったようです。

本講座の開講により、本事業の目的の一つである豊かな人間性の涵養やコミュニケーション能力、課題探求能力等、学士力・社会人基礎力の向上を図るとともに、学生の自主的な就職活動の充実が期待されます。

なお、9月にも同様に心理科学部臨床心理学科の学生を対象に特別キャリアデザイン講座の開催を予定しています。



「自分を知る」「自分を理解し表現する」等の項目について、少人数4クラスでグループワーク形式に

平成23年度 薬学生セミナー(学内合同就職相談会)を開催しました。

平成23年7月15日(金)、来春(平成24年3月)、薬学6年制移行後、初の卒業生となる6年生を主な対象とした「平成23年度 薬学生セミナー(学内合同就職相談会)」が開催されました。

当日は道内・道外の病院・薬局等より人事担当の方々が来学され、学生に対して就職に関する説明や相談等をしていただきました。

参加した学生も各ブースを積極的に訪れ、活発に応募に即した相談等を行いました。

本学各学部・学科に関わる職種の求人お申込については、本学ホームページをご参照ください。

セミナー参加団体 / 103団体 ●病院: 60 ●薬局: 43

